

④株式会社佐原 〈岩手県一関市〉

新時代の換気システム「M to M 窓から窓へ」 高い技術力とブランド化により売上拡大



24H換気システム「シックハウスバスターズ」のイメージ図

住む人の健康を守る換気システム

岩手県一関市に本社を構える(株)佐原は、給気プレス付窓と換気扇付FIX窓を組み合わせた24H換気システム「シックハウスバスターズ」(アルミサッシ用第三种換気システム)で、人が生活していく上で最も大切である新鮮な空気環境と住環境に配慮した省エネ製品を提供している。

現代の住宅は、高断熱・高气密化が進み、快適な室内温度を保つ事が出来るようになった反面、室内に汚れた空気や湿気がこもり、結露によるカビやダニの発生、有害化学物質濃度の向上や酸素濃度の低下など24H換気的重要性が高まっている。

アルミ建材業界初の、窓を使用

した24H換気システム「シックハウスバスターズ」は、製品と換気計算のハードとソフトの両面から、確実な換気計画を実現し、住む人の健康維持に役立っている。

高技術と販売ルート確立

同社は1956年にガラス店としてスタートした。戦後の住宅建設ラッシュを受け、住宅用ガラスの販売が順調に伸びていた。そうした中、1965年代に発生した室内の一酸化炭素中毒死亡事故のニュースを見た佐原得司会長が、換気の必要性を痛感する。「壁に穴を開けるよりも簡単に室内の換気が出来ないか。」、そうした問題意識から窓サッシに換気口「換気プレス」をつけることを発案・製品化した。もともと住宅用窓ガラ

スなどを手がけていた同社にとって、極めて関連性の高い分野であった。換気プレスのついた窓サッシは、大手住宅メーカーを中心に順調に売上を拡大し、サッシ用プレスといえば「佐原」と言えるブランドを構築した。

新技術への挑戦

売上が拡大すれば同業者や大手メーカーの内製化が進む事を予測し、新規事業として形状記憶合金ばねを使った、電気を使わない温度変化だけで自動的に作動する換気口の開発を開始した。形状記憶合金に対する知識がなかった同社は、社員を東北大学に派遣し、一年間の研修を経て、試行錯誤の末に形状記憶合金の特性や取り扱いに関する知見とノ

ウハウを獲得する。形状記憶合金の性能分析には、公設試験所の設備の利用や研究者からのアドバイスも参考とした。こうして、外部の研究機関とうまく連携をしながら粘り強く開発を続け、製品化に成功した各種製品は、高い品質管理と技術開発により、記憶合金業界でも異例のロングヒット商品として広く採用されている。今では、同社の高い技術力を頼って、多くの開発依頼が来ており、自然エネルギーを利用した新たな高機能エコ製品を提供しながら、換気の佐原として販売量を増やしている。

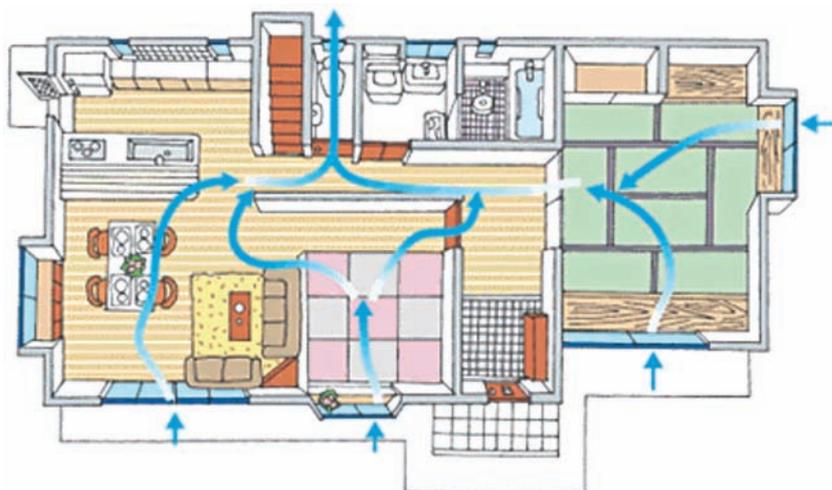
成功のポイントとこれから

同社の成功ポイントはなんと言っても他社に真似されない高い技術力にある。しかしながらそうした技術の背景には、消費者にとって快適で健康な住環境を目指し追求してきたことと、自然環境への配慮を迫った粘り強い開発努力があった。

現在同社は、換気計算に基づいた快適な空気環境を計画するために、窓から新鮮な空気を取り入れて、窓から汚れた空気を排出する「M to M 窓から窓へ」をコンセプトに開発した「シックハウスバスターズ」に力を入れて取り組んでいる。販売開始後すぐに、シックスクール問題で困っていた県内の小学校に採用されて、大きな成



給気プレスとステンドグラスを組み込んだサッシ窓



M to M 窓から窓へ

果をあげている。また、住宅建築市場の大きな中国を中心とした海外からの問い合わせも多く、海

外市場を視野にいれた展開を進めている。

<環境ビジネスのすすめ ~佐原芳樹代表取締役社長からの一言~>

社は「一日一進」の精神で日々改善と努力を怠らず、環境と人の生活に配慮した開発に努めております。

<企業データ>

株式会社佐原
所在地：岩手県一関市赤萩字亀田 143
設立：1967年、資本金：3,000万円
電話番号：0191-33-1111
<http://www.sahara-s.co.jp>

